

Miniproject-3

2005年1月13日

■最終日の発表について

2005年1月20日の授業の後半において、ミニプロジェクトの発表会を行ないます。

方法

各グループごとに5分の発表、2分の質疑応答時間とする。発表の前準備は1分以内。

教員用のMacintoshを使って発表すること

Webページで発表用のスライドを作ってそれを見せること

自分のコンピュータで発表しないこと（特にWindowsのマシン）→つなぎ替えなどに時間が掛かる

メンバー全員が壇上にきて、発表すること

誰が発表するのか、全員で発表する場合はその分担などを事前に決めておくこと

発表内容

チーム名、代表者、メンバーの紹介

どのようなものを作ったのか、そのコンセプトや使い方の紹介

実際にアプレット等を稼働させて実演すること

どのような技術・手法を用いてその作品を完成させたのか

苦労した点やアピールしたい点をまとめておくこと

→残留したというのは、あまりアピールにならない。

似たような製品やサービスなどがあれば、それとの比較

→どの程度、差別化できたのか

注意

少なくとも1度以上、事前に発表の練習をしておくこと

発表時間を守り、最大限の内容を伝達できるように訓練しておくこと

だらだら発表しない（減点対象）

マイクを使って後ろまで聞こえるように発表をする

ぎりぎりまで自分の作品の修正をやっていないで他の人の発表を聞く

自分の発表の順が終わったからと言って他人の発表のときに騒がない・帰らない

この時間に他の授業の課題に集中しない

他のグループの発表に手を挙げて質問をすること（質問をするのが学生の仕事である）

■ミニプロジェクトのページについて

内容：

- ◇ ミニプロジェクト名、代表者・メンバーの名前
- ◇ ミニプロジェクトで作ったものの実行の仕方・使い方マニュアル
- ◇ 画面の進行などの設計（絵コンテなど）
- ◇ プログラムの大まかな流れの説明
- ◇ 各メソッド、インスタンス変数の説明
- ◇ いつの時点で何をしたかの記録
- ◇ 各メンバーの役割分担
- ◇ アプレットが、そこで動かせることができるように
- ◇ プログラムのテキストのページも作る（.javaのまま置いておいて、リンクを張ればよい）
- ◇ 発表で使ったスライド（HTML形式で保存する）
- ◇ その他

注意

実行ファイルやソースファイルは、実行したり見れること（権限に注意）。
実行できなかつたり、見れなくなっていないように注意してすること。
アプレットについて、ページから実行できるようになっているかどうかSFC外部からも一度確かめること（SFC内部でだけ順調に動作するということが多い）。
上記のうち欠けている項目があったら、減点の対象となります。
完成期限は、2005年2月1日午後12時まで

■ミニプロジェクトの個人レポート

★個人レポートは電子メールで各自が提出する

期限： 2005年2月1日午後12時まで
To: 担当の教員のメールアドレス
Cc: 自分のログイン名
Subject: minipro-personal
内容：

★ミニプロに関して 自分の作った担当・クラス・メソッドはどれか
苦労した点、何をやったのか、何が得られたか、
その他アピールしたいこと
★授業に関して 良かったところ
気のついた点（なければ書かなくてよい）

これも出さないと減点の対象になります。

■定期試験について

試験会場・時間を掲示板などで確かめて下さい。
2005年1月22日の1時限だと思います。

試験会場・時間を間違いなく。寝坊しないように！追試はない。
試験を受験しなかった学生は、受講放棄と見做される。

for文、if文、配列、メソッドの呼出しなどが出題される。
過去問で勉強しておこう。持ち込み不可。

■課題の提出について

課題の提出状況が悪いので、以下の課題について受け取ります。
遅れて出した分、減点されますが、出さないよりよっぽどましです。

java-6 BinaryConverterだけ	2進数への変換するアプリケーション
java-7 ColorTable2	カラーテーブル、緑の変更ボタンと、マウスクリックで色成分表示
java-8 StopWatch	ボタンでストップウォッチ機能があるアプレット
java-9 WordCounter	前後に空白がいくつあっても正確に単語数を数えられるアプレット